

アグリビジネス創出フェア2019

令和元年11月20日～22日、東京国際展示場で開催された「アグリビジネス創出フェア2019」農研機構展示エリアにおいて、「水田農業の未来を拓く水稲乾田直播栽培と子実用トウモロコシ栽培技術」のテーマで中央農業研究センター、九州沖縄農業研究センターとともに出展しました。水田農業に関わる成果として、乾田直播栽培技術、子実用トウモロコシ生産技術、「フレコンラップ法」による簡易・迅速なサイレージ調製技術、直播選択ドットネットを紹介しました。本年度のフェアには全国の大学、民間企業、都道府県の試験場、独立行政法人等134機関が出展。参加者数（来場者数+出展関係者数）は、3日間



ポスター展示、配布資料、動画による「乾田直播」等開発技術を説明

の合計で36,000人と盛況でした。

期間中、上記成果についてポスター展示、動画による紹介、資料・マニュアル配布を行いました。乾田直播栽培技術による水稲栽培に加え、水田輪作に子実用トウモロコシを導入することは、省力化やコスト低減等様々なメリットがあることから、今後一層大区画化する水田をサポート可能な技術として注目されています。また11月22日には、笹原和哉グループ長（農業経営グループ）が「明日のお米づくりのための「直播選択ドットネット」」のセミナーを実施し、ウェブサイト上でいくつかの質問に答えることにより最適な直播栽培技術を提示する「直播選択ドットネット」について説明しました。

また、他の農研機構ブースで「震災の避難解除地域での営農促進の取り組み」の展示を行うとともに、農林水産省委託プロジェクト「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」実施課題についても、成果の説明とともに開発技術の普及を図りました。

（地域戦略部事業化推進室）



明日のお米づくりのための「直播選択ドットネット」セミナー